

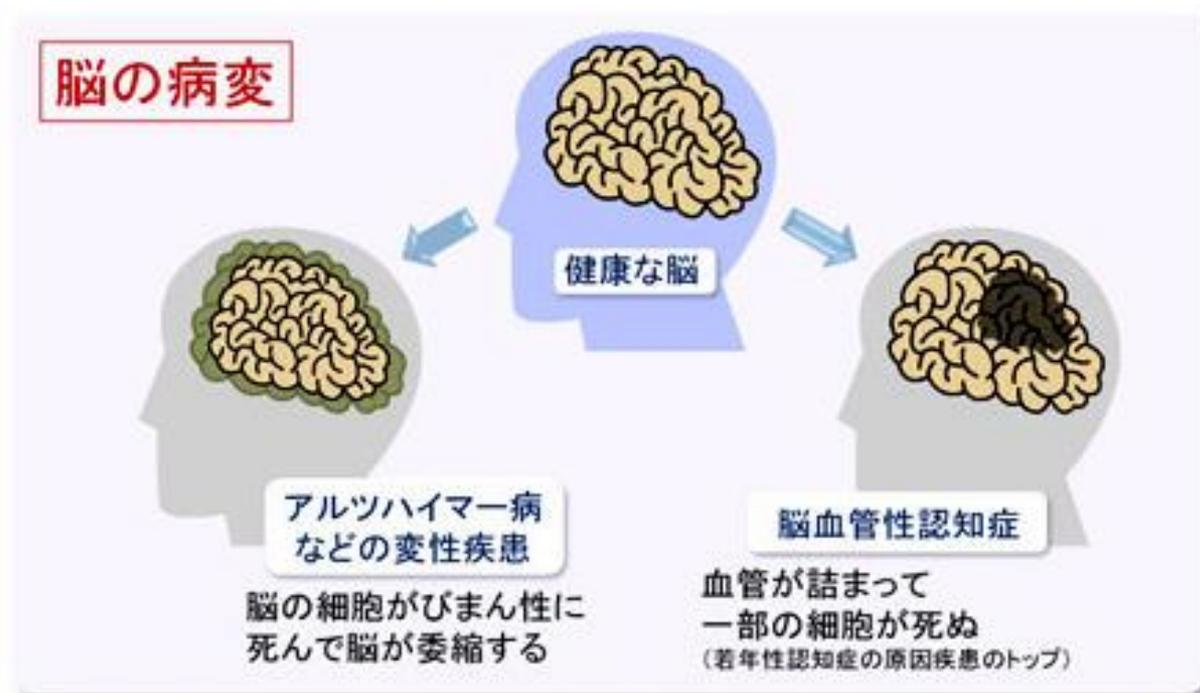
認知症を学び地域で支えよう

滝沢市地域包括支援センター

認知症とはどういうものか？

『変性疾患』・・・アルツハイマー病、前頭側頭型認知症、
レビー小体型認知症

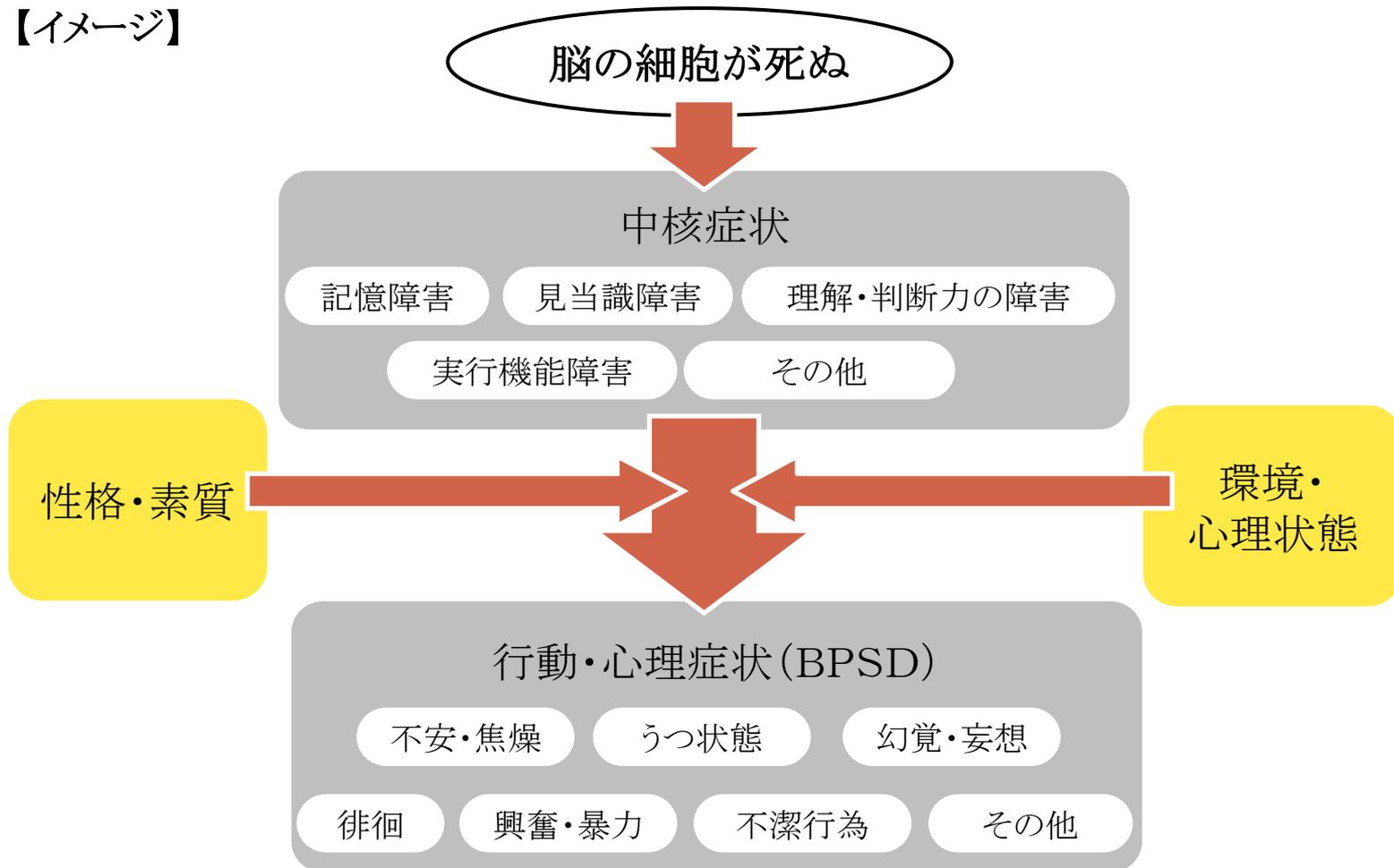
『脳血管性認知症』・・・脳こうそく、脳出血、脳動脈硬化



認知症の症状

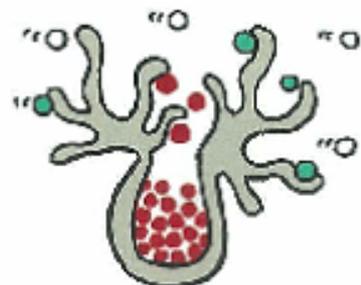
～中核症状と行動・心理症状～

【イメージ】

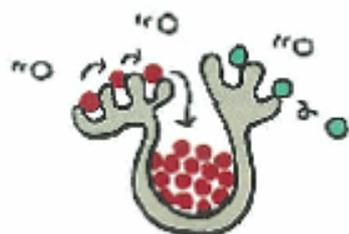


中核症状

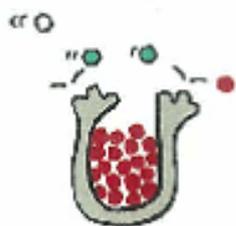
症状1 記憶障害



若いとき



正常な老化
(覚えるのに手間がかかる)



認知症
(覚えられない)



進行すると
(覚えていたことを忘れる)

- 大切な情報
- 関心のある情報
- 無駄な情報



症状2 見当識障害

まず、時間や季節感の感覚が薄れることから

進行すると迷子になったり、遠くに歩いて行こうとする

人間関係の見当識はかなり進行してから



症状3 理解・判断力の障害

考えるスピードが遅くなる

2つ以上の事が重なるとうまく処理できなくなる

些細な変化、いつもと違う出来事で混乱をきたし易くなる

観念的な事柄と、現実的、具体的な事柄が結びつかなくなる



症状4 実行機能障害

計画を立てて按配することが
できなくなる

保たれている能力を活用する
支援



その他(感情表現の変化など)

認知症になるとその場の状況が読めない



行動・心理症状とその支援

元気がなくなり、引っ込み思案になることがある

自信を失い、すべてが面倒に

将来の望みを失ってうつ状態になることも



身の回りのことに支障が出てくる

排せつの失敗を例に・・・

- ①トイレの場所がわからなくなる
- ②衣類の着脱に手間取って汚してしまう
- ③切迫するまで尿意、便意を感じなくなる
- ④尿意、便意を感じなくなる

周辺の人が疲弊する精神症状

しまい忘れから、もの盗られ妄想へ

もの盗られ妄想がより複雑な妄想になることも



認知症の診断・治療

治る病気や一時的な症状の場合がある

正常圧水頭症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫

→脳外科的な処置で劇的によくなる場合がある

甲状腺ホルモンの異常

→内科的な治療でよくなる

薬の不適切な使用

→薬をやめるか調整すれば回復する

早い時期に受診することが大切



認知症：脳のある部分に生じた病変によって自分のあたりまえの暮らしが困難になるほどわかる力（認知）が低下した状態

認知：わかる力

☆人が自分らしく日々の暮らしていくために欠かせない力

- ・覚える (記憶：記銘・保持)
- ・思い出せる (記憶：想起)
- ・場所がわかる (場所の見当識)
- ・時間がわかる (時間の見当識)
- ・人がわかる (人の見当識)
- ・それがなにかわかる (理解)
- ・起きていることがわかる (理解)
- ・どうしていいかわかる (判断・選択)
- ・数えられる (計算)
- ・新しいことがわかる (学習)



いろいろな認知症のくすり

一例)

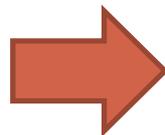
- アリセプト
- レミニール
- メマリー
- イクセロンパッチ
- リバスタッチパッチ



認知症の人との接し方①

自尊心を傷つけない

間違った行動・意味不明な行動をしても・・・



疎ましい対応の仕方や奇異な目で見たり、無視したりせず、まずは「いいよ、いいよ、大丈夫だよ」とゆったりと接する。



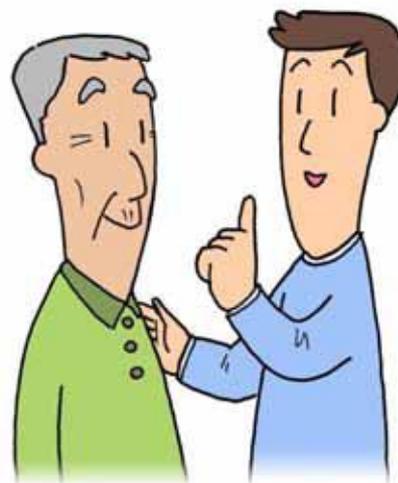
認知症の人との接し方②

相手の視野に入ってから近づいたり、話しかけたりする

後ろからの声掛けや突然近づくと驚く



おどかさない



正面から近づいたり、声をかけたりする



認知症の人との接し方③

ゆったり、穏やかに、笑顔で！

周囲のスピードについていけない
言葉の理解に時間がかかる



パニックを防ぐ



言葉かけの対応のスピードを落とし本人のペースに合わせる



認知症の人との接し方④

わかりやすい言葉で簡潔に伝える

一度にたくさんのお話で混乱する



1つの要求のあと、しばらく「待つ」
本人に伝わる呼び名やなじんだ土地の言葉を使う

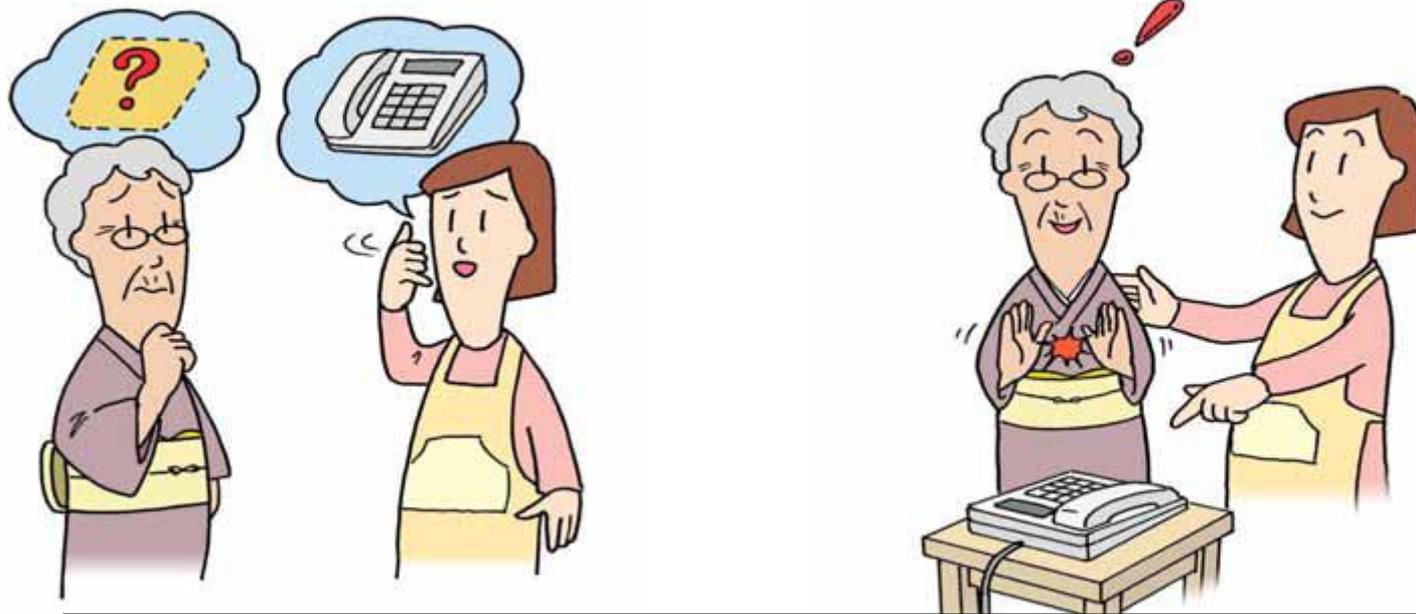


認知症の人との接し方⑤

ボディランゲージ、道具の写真、物を使って伝える

物事の意味や言葉が理解できない

理解を助ける



「座りましょう」はイスを示し、
一緒に座る動作をすることで理解できる



認知症の人との接し方⑥

感情は豊かに生きている！

意欲低下や無気力、失敗を恐れていたたり
自信がなかったりする

心が動く
働きかけを



五感を刺激したり、心地よさや楽しいと感じる
場所や場面を増やす(風、香り、花、散歩・・・)



認知症の方への対応

認知症の人への対応の心得

～“3つの「ない」”～

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

具体的な対応の7つのポイント

1. まずは見守る
2. 余裕をもって対応する
3. 声をかけるときは1人で
4. 後ろから声をかけない
5. 相手に視線をあわせてやさしい口調で
6. 穏やかに対応する
7. 相手の言葉に耳を傾け対応する

